



2021年11月5日

各位

上場会社名 東邦化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード番号 4409)
問合せ先責任者 常務取締役経理本部長 井上 豊
(TEL 03-5550-3735)

通期業績予想に関するお知らせ

未定としておりました2022年3月期 通期連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	49,500	1,320	1,600	930	43.60
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	40,649	1,386	1,425	1,005	47.12

2. 公表の理由等

当社連結子会社である東邦化学(上海)有限公司は、2021年4月30日付で中国上海市金山区应急管理局から生産の一時停止を命じられ、生産停止期間は同日から同管理局の生産許可が下りるまでとされていたため、7月27日に生産許可を受けるまでの間、生産再開時期が不透明な状況が続きました。また、同社は生産停止中も在庫製品の販売を行っており、製品在庫が大幅に減少したことから、生産活動再開後も、販売活動への影響は継続しました。同社の生産停止による影響を合理的に見積もることが困難であったことや、国内外ともに原材料価格の値上げの動きが激しく、損益面への影響について不確実な要素が大きかったことから、2022年3月期の連結業績予想につきましては未定としておりましたが、東邦化学(上海)有限公司の生産停止による影響について合理的な算定が可能となったことから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて連結業績予想を算定し、公表することといたしました。

通期の連結業績予想につきましては、下期も幅広い分野で堅調な需要が見込まれることや、原材料価格の値上がりに伴う売価の上昇により、連結売上高は49,500百万円（前期比21.8%増収）と予想しております。しかしながら、損益面につきましては、下期も原材料価格の更なる上昇や人件費・減価償却費等の固定費の増加が、利益の下押し要因となることを見込まれます。また、東邦化学（上海）有限公司の決算期は12月であり、同社の2021年7月から12月までの業績が下期の連結業績に反映されるため、同社の生産停止（4月30日から7月27日まで）による連結業績への影響は下期にも及びます。それらを踏まえ、通期の連結営業利益は1,320百万円（前期比4.8%減益）、連結経常利益は1,600百万円（前期比12.3%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は930百万円（前期比7.5%減益）と予想しております。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上